

有馬かおる

1969 愛知県生まれ

1990 名古屋造形芸術短期大学プロダクトデザインコース

現在は宮城県を拠点に制作活動をする

個展

**1993**

「キワマリ荘の住人 - アイツがやって来た」ウエストベスギャラリー、名古屋

**1994**

「キワマリ荘の住人 2 - ネオギガ」ウエストベスギャラリー、名古屋

**1995**

「キワマリ荘の住人 3 - 継続の日常」ウエストベスギャラリーコズカ、名古屋

**1996**

「キワマリ荘の住人 4 - 奇妙な生活」ウエストベスギャラリーコズカ、名古屋

「神の生活」アート ドラッグ センター (キワマリ荘)、犬山、愛知

**1998**

「ART DRACULA」アートドラッグセンター (キワマリ荘) 犬山、愛知

**1999**

「信じること探すこと」アート ドラッグ センター (キワマリ荘) 犬山、愛知

**2000**

「冒険からもちかえたもの」複眼ギャラリー、大阪

**2001**

「鑑賞と忍美。」アートドラッグセンター (キワマリ荘) 犬山、愛知

**2003**

「有馬かおる展」ワタリウム美術館、東京

**2004**

「有馬かおる展」ギャラリーセラー、名古屋

「有馬かおる展」ギャラリー本城、東京

**2005**

「有馬かおる展」エクストラスパジオ、ローマ

「有馬かおる展」ギャラリー・デニス・キマーリッヒ、デュッセルドルフ

**2006**

「キワマリ荘の住人 5 - 楽描鬼の引っ越し」アートドラッグセンター (キワマリ荘) 犬山、愛知

「視覚文学論」ギャラリー本城、東京

**2007**

「うちはうち そとはそと のんじゃった」アートドラッグセンター (水戸のキワマリ荘) 水戸、茨城

**2008**

「制度の縁側夜曲」アートドラッグセンター (水戸のキワマリ荘) 水戸、茨城

**2009**

「れんこんのなか」ZENSHI、東京

**2010**

「Natural Freedom」ZENSHI、東京

**2012**

「猫の消えた日常。線装する獣」MISAKO & ROSEN、東京

**2013**

「And Then」QT クイア・ソウツ、シカゴ

**2015**

「Face of a human」MISAKO & ROSEN、東京

**2018**

「To See」クイア・ソウツ、ニューヨーク

**2019**

「FAUST IN MARIENBAD by Paris 2019」、Édouard Montassut、パリ

**2020**

MISAKO & ROSEN、東京 (予定)

グループ展

**1994**

「アートウエーブ '94」NHK 名古屋センタービル、名古屋

「ウンプテンブテン 143」カノーヴァン、名古屋

## 1995

「鈍牛庵の夜長」岩田洗心館、犬山、愛知

「New Birth」名古屋市民ギャラリー、名古屋

## 1997

「6 Artists」ウエストベスギャラリーコズカ、名古屋

「うさぎ小屋研究所」ウエストベスギャラリーコズカ、名古屋

## 1998

「ART RAPE 1998」アート ドラッグ センター、犬山、愛知

「to the Living Room」ワタリウム美術館、東京

## 2000

「雀スタイル」GALLERY CAPTION、岐阜

## 2001

「チャイルド・フィンガーズ」アートドラッグセンター犬山、愛知

「TRANSIT」ラフォーレ原宿小倉、福岡

「現代美術 2001 NAGOYA」名古屋市民ギャラリー矢田、名古屋

## 2002

「Beautiful art life」アートドラッグセンター、犬山、愛知

「Kageki Metonymics」ステイブン・スタック・ギャラリー、ニューヨーク 2003

「How Latitudes Become Forms」ウォーカー・アート・センター、ミネアポリス [サンドレット・レ・レバウベンゴ・パラルテ財団、トリノ/ヒューストン 現代美術館、ヒューストン/ミュゼ・ルフィノ・タマヨ、メキシコに巡回]

「Kageki Metonymics」リンク・リアル・アート、サンフランシスコ

## 2004

「第 54 回 カーネギーインターナショナル」カーネギー美術館、ピッツバーグ

「DESSINS ET DES AUTRES」GALERIE ANNE DE VILLEPOIX、パリ

「ブラインド パイロッツ」ザ・プロポーション、ニューヨーク

「A Working Hypothesis」北九州市立百三十銀行ギャラリー、福岡

## 2005

「With Out Art Drug Or」アートドラッグセンター（キワマリ荘）犬山、愛知

## 2007

「夏への扉 マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー、水戸、茨城

「Paper Trail - A Decade of Acquisitions -」ウォーカー・アート・センター、ミネアポリス

「シティーネットアジア 2007」ソウル市立美術館、ソウル

## 2008

「カフェ・イン・水戸 2008」水戸芸術館、水戸

「第 7 回 光州ビエンナーレ」光州、韓国

## 2009

「有馬かおる+森千裕二人展」オンサンデーズ、東京

## 2010

「あいちアートの森」水谷邸、名古屋

## 2011

「G-TOKYO× NEW TOKYO CONTEMPORARIES サロン 2011」六本木ヒルズカフェ、東京

「Addicted to high and lows：リチャード・オードリッチキュレーション」Bortolami, ニューヨーク

「Happy Mind - my pleasure」MISAKO & ROSEN、東京

「ファミリーアフエア」XYZ、東京

## 2012

「冬の旅」シェーン・キャンベルギャラリー、シカゴ

「September」MISAKO & ROSEN、東京

## 2013

「ナウ・ジャパン 日本の現代美術」クンストハル KAdE、アメルスフォート、オランダ

「アートがあれば II — 9 人のコレクターによる個人コレクションの場合」東京オペラシティーアートギャラリー、東京

## 2014

「アイム・ハングリー」ステーキハウス・ドスコイ、東京

## 2015

「レインボー」QT、ニカラグア

「I'm sorry please talk more slowly」8/02 CUBE 1,2,3 ヒカリエ渋谷、東京

## 2016

「ニカラグア・ビエンナーレ」Fundacion Oritz Gurdian、ニカラグア

## 2017

「Reborn-Art Festival 2017」宮城

**2018**

「ハッピーマインド - ナチュラル・ハイ」、東京

**2019**

「Kaoru Arima, Sitara Abuzar, Ghaznawi Ozgur Kar」 Édouard Montassut、パリ

「Reborn-Art Festival 2019」 宮城